

病

院

だ

よ

い

松前町立松前病院
松前町字大磯174番地の1
☎42-2515
<http://www.e-natsumae.com/hospital/>

木村エンチヨウの目指すもの

マツマエ エンチヨウ先生、アンタ、なしにマツメさ来た？（どうして松前町に来たんか）

木村（だじろいで）え？ それは、そこにマツメがあったから・・・。

マツマエ なに登山家みたいエンタことしゃべって。木村 いや、それは、マツメが私にピッタリの場合だったからです。

マツマエ ピッタリ？ なしにピッタリなんだ？

木村 それはね、都会から遠く離れた町で、医療をすつごく必要としていて、しかもここで学生や若い医者育てる仕組みづくりができると思ったからです。マツマエ なしにそう思ったンタ？

木村 そのようにできる人材と環境があったからですナ。

マツマエ そうか。ワシとババのためかと思った…。

木村 もちろんマツマエさん夫婦のためですよ。松前町、福島町、そして上ノ国町の小砂子の方々が医療に不自由することなく住み続けられるような仕組みを作るためです。

マツマエ やっぱり。ババ！ 今の聞いたか？

ババ そったこと、先から（前から）わがっつら。

マツマエ アンタ、これから先はどうするつもりだ？

木村 今よりもさらに親切で、さらに見立てがよい病院が目標です。それに、実習や研修に来た学生や

若い医師たちが、松前でのよい思い出、松前病院で学んだものを胸に、将来、全道や全国で、特に地方の町で働くようになってほしいですね。そして何より大切なのは、町民が安心できる医療環境を持続させて行くことです。

マツマエ そうか。案外ちっちゃい目標だナ。あどや？

木村 うーん、病院の建物は35年半も経っているので、10年、20年後のことを考えれば建て替えねばなりません。他にもたとえば、我が国の『何でも科』（総合診療科）が発展していくこと。そのために、日本プライマリ・ケア連合学会という学会の北海道支部長をやっています。『松前のため・地域のため・医療のため』です。

マツマエ なんだがムツがしくてわがんねーじゃ。

木村 あと松前病院がインターネット上で行なっている医者向けの教育番組も充実させていきたいですね。全国で毎回95力所もの病院が参加しているんですよ。番組の司会は八木田、吉野、熊谷（鮎）医師がやっています。

ババ キャー！ よすの（吉野）先生が出てくるんだか？

木村 申し込んでおきます・・・。

ではまた。

町立松前病院 院長 木村 眞司

8月の応援診療

内科(循環器) (市立函館病院)

24日(土)午前 松村医師
【予約制】

整形外科(函館中央病院)

5日(月)午前 重信医師
19日(月)午前 安藤医師

外科(函館協会病院)

23日(金)午前 鬼原医師

外科(市立函館病院)

8日(木)午前・午後 鈴木医師

眼科(札幌医科大学)

7日(水)午前・午後 平岡医師
14日(水)午前 大黒医師
21日(水)午前・午後 川田医師
28日(水)午前・午後 橋本医師

耳鼻咽喉科(札幌医科大学)

9日(金)午前・午後 大國医師
23日(金)午後 小笠原医師
24日(土)午前 小笠原医師

※担当医師は変更になることがありますので、ご了承ください。